

魂  
を  
鍛  
つ

刀匠

月山貞利展

平成29年 6月14日(水)

↓  
20日(火)

日本橋高島屋6階美術画廊

※最終日は午後4時閉場

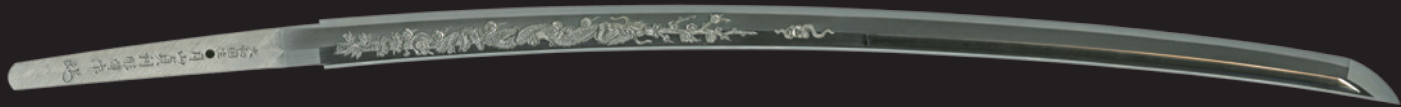


刀 松竹梅に龍彫

魂を鍛つ

刀匠

# 月山貞利展



平成29年 **6月14日(水) → 20日(火)**

日本橋高島屋6階美術画廊 ※最終日は午後4時閉場

◇ **ギャラリートーク** 6月17日(土)午後3時～

### ご挨拶

皆様の暖かいご支援をいただき、日本橋高島屋に於いて第9回目の個展を開催させていただきますことに心より感謝いたしております。

平成2年、第1回の師月山貞一と共に出品させていただいた頃が懐かしく思い出されます。

刀工月山派は鎌倉時代、出羽月山鬼丸より起った刀鍛冶であり、その末裔として現在弟子達と共に激しい鍛錬に身を焦がし、燃え盛る炎に立ち向い日々鍛刀に励んでいます。

武士の魂「日本刀」 悠久の時を経て現代に受け継がれているこの尊き日本刀は、世界に誇る文化遺産です。

この伝統と技を後継の貞伸や弟子、後世へ伝える使命と責任を果すべく、

さらなる精進を重ねて参ります。

どうぞこの機会に渾身の最近作をご高覧賜わりますようお願い申し上げます。

平成29年6月吉日

刀工 月山貞利 拜

### 刀匠 月山貞利 略歴

- 昭和21(1946)年 人間国宝月山貞一の三男として大阪に生まれる
- 昭和44(1969)年 大阪工業大学建築学科卒業、師貞一に就く
- 昭和50(1975)年 新作名刀展、高松宮賞受賞 (その他特賞多数受賞)
- 昭和57(1982)年 新作名刀展無鑑査に認定
- 米国ボストン美術館での「日本の人間国宝展」
- 師貞一に同行、同館にて約1ヶ月の公開鍛錬
- 昭和58(1983)年 刀匠月山貞利展 (大阪心斎橋大丸)
- 昭和63(1988)年 大阪市立博物館「出羽三山と月山刀工展」
- 米国ボストン美術館「月山歴代とその伝統展」
- 太刀一振りボストン美術館へ寄贈
- 平成元(1989)年 奈良県立文化会館「八百年の伝統月山歴代展」
- 平成2(1990)年 刀匠月山貞一・貞利展 (東京日本橋高島屋)
- 平成5(1993)年 刀匠月山貞利展 (東京日本橋高島屋)
- 平成7(1995)年 奈良県桜井市茅原に月山記念館開設
- 全日本刀匠会会長就任 (現顧問)
- 文化庁主催刀匠技術保存研修会講師就任
- 横綱貴乃花関の太刀謹作
- 平成8(1996)年 奈良県立美術館
- 「人間国宝刀匠月山貞一回顧展～その技と伝統」出品
- 刀匠月山貞利展 (東京日本橋高島屋)
- 平成9(1997)年 横綱若乃花関の太刀謹作
- 平成10(1998)年 刀匠月山貞利展 (東京日本橋高島屋)
- 平成13(2001)年 春日若宮社御神宝太刀謹作
- 平成15(2003)年 奈良県指定無形文化財保持者認定
- 奈良新聞文化賞受賞
- 平成16(2004)年 ニューヨークメトロポリタン美術館御用命御刀謹作 (貞利・貞伸合作)
- 刀匠月山貞利展 (東京日本橋高島屋)
- 平成18(2006)年 警視庁総監賞の短刀謹作 (昭和58年も同作)
- 台湾高雄国立科学工藝博物館「古代兵器展」出品
- 平成20(2008)年 刀匠月山貞利展 (東京日本橋高島屋)
- 大阪歴史博物館
- 「生誕百年人間国宝刀工月山貞一とその一門」展出品
- 奈良市美術館「刀工月山貞利と月山一門」展
- 平成22(2010)年 刀匠月山貞利展 (東京日本橋高島屋)
- 平成23(2011)年 横綱白鵬関の太刀謹作
- 平成25(2013)年 第62回伊勢神宮式年遷宮御料太刀謹作 (第61回も謹作)
- 平成26(2014)年 刀匠月山貞利展 (東京日本橋高島屋)
- 平成27(2015)年 奈良県文化財保護功労者表彰
- 平成28(2016)年 春日大社第60次式年造替
- 国宝「金地螺鈿毛抜形太刀」刀身復元謹作
- 旭日双光章授章
- 平成29(2017)年 刀匠月山一門展 (阪急うめだ本店)
- 大阪城名物刀「大江」刀身復元謹作 (大坂の陣の際焼失刀)
- 水戸徳川家名物刀「兎手柏」刀身再現謹作中 (徳川ミュージアム御下命)



脇指

桜花彫

附 黒漆塗合口拵

短刀

龍彫

附 黒漆塗印籠刻合口拵

**高 Takashimaya** NIHOMBASHI

日本橋

〒103-8265 東京都中央区日本橋2-4-1

TEL (03) 3211-4111

営業時間：午前10時30分～午後7時30分

地下2階・8階レストラン街、8階特別食堂は午前11時～午後9時30分まで営業。